

発行人 今村久美子

編集人 土屋和子

〒191-0041日野市南平2-56-10 E-mail: csc-hino@angel.email.ne.jp

Tel&amp;Fax 042-583-1528 http://www.angel-hino.com/

特定非営利活動法人市民サポートセンター日野 / 郵便振替番号 00180-0-612689

Link

Linkは、わたしたちのNPOが市民と市民、市民と行政、市民と事業者、市民と学校、子どもと大人といった様々な人々をリンク（Link：つなぐ）することを、そして心と心をつなぐことを目指しています

## NPOの地域づくりは、

## 「縦の関係」から「横の関係」への仕組みづくり

新年おめでとうございます

旧年中は大変お世話になりまして有り難う御座いました。

おかげさまで「市民サポートセンター日野」は皆様のお力添えを頂きながら着実に発展路線をたどり、4度目の新年を迎える事が出来ました。心よりお礼を申し上げます。

私どもは「安心して暮らせる地域社会」の実現を目指して活動を続け、昨年はより質の高いサービスの提供を願って、行政との協働による新規事業を行ってまいりました。行政の持つ特性とNPOが持つ特性を持ち寄る事により、相乗効果の発揮を目指しました。

公平、平等を行動規範に置く行政に対して、NPOは生活、多様、個性に社会的価値を置きます。また議会で承認された予算に基づいて各部で事業を行う、いわゆる縦割り行政に対して、NPOは生活に視点を置いた、生活者の目線での「全体を見る」観点からの活動を行っています。

子育て支援、家事支援、高齢者支援をそれぞれ異なった部・課で行うのではなく、これらは、結婚・妊娠から高齢期に至る家庭の全てのライフステージへの支援と考えての「家庭支援事業」と捉え、くらしの中の課題として取り組んでおります。

今後ともNPOならではの特性を生かした地域密着型活動を行って参りたいと思います。

どうぞ本年も皆様のご支援を頂けます様よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人市民サポートセンター日野 理事長

今村久美子

## 2008年新年交流会でお会いしましょう

NPO 法人市民サポートセンター日野 恒例の新年交流会を  
ことしも下記のとおり開催します。

お誘いあわせの上ご参加下さいますよう、ご案内いたします。

2008年1月23日（水）午後6時～8時

多摩平の森ふれあい館3階 集会室6

会費 500円

★出欠をお知らせ下さい Tel.583-1528まで



# NPO と行政との協働の視点からみた おむすびとそだちあいの事業

当 NPO は 2007 年 4 月から日野市子ども支援事業そ  
だちあいと日野市一時保育事業 0 歳児ステーションおむす  
びを受託し事業運営を行っています。

今号では、両事業の運営で NPO がどのように行政との  
協働を目指しているかをご紹介します。



## NPO と行政の協働

「協働」とは自立した主体同士が対等な立場  
で、それぞれもっている資源(情報、専門性、資  
金、人材)などの得意分野を持ち寄り、足りない  
部分を補い合うことにより、より質の高いサービス  
を提供することを目的とします。

行政が持つ情報、組織、調査力と NPO が持つ  
柔軟性、専門性、先駆性、迅速性を生かすこと  
により、効果的な連携が可能となりより高い質の  
サービスをお届けすることができます。

(今村久美子理事長 LNK 第 8 号原稿より)

## 3ヶ月～12ヶ月未満のお子さんをもつ在宅のお母さんへのサービス

### 0歳児ステーションおむすびは、どのように誕生したか!

#### 一時保育開設への NPO の取り組み

**2006 夏** ・ 3、4ヶ月健診会場ファミサポ登録説明会で  
0 歳児一時保育についてアンケート実施  
→ 95%のお母さんが必要、欲しい

・ 日野市に 0 歳児一時保育がないことから、設  
置を市に提案 (企画調整課との協働)

**2006 秋** ・ 開設に向けて、市内保育園、他市先行施設を  
視察  
・ 東京都設置基準説明会に出席し設置基準につ  
いて情報収集

**2006 冬** ・ 実施企画案を作成し「母子分離型子育て支援  
策」として市に提案  
・ 一時保育と並行して、親そだち講座開設を提  
案。親子のふれあいの様々な手立てを学びな  
がら親子がそれぞれ 1 歳になることを応援す  
る体制を提案

**2007 春** ・ 福祉支援センターにファミサポ支部とともに  
0 歳児一時保育設置が決定  
(子ども家庭支援センターとの協働)  
・ お試し保育実施 (5月)  
・ 6月1日 一時保育開設  
・ 親そだち講座「ビーマッサージ」開設

#### 手をむすび、こころをむすんでお母さんいっしょに育 てましょう……0歳児ステーションおむすび誕生

6月1日から一時保育運営を開業しました。  
名前は「おむすび」とつけました。

#### おむすび周知のための NPO 取り組み

3、4ヶ月健診会場にて、登録受付を始めました。  
健診受診のお母さん全体のほぼ 60% が、登録し  
「こんな施設があって、安心」また、同時に 1 時間  
無料のお試し券を配布したところ、「なんだかうれ  
しい、いつ使おうかな!」と微笑むお母さんが、増  
えました。(健康課、地域協働課との協働)

#### 日野市ならではの 0 歳児一時保育を目指して

##### → 子ども家庭支援センターとの協働

子ども家庭支援センターたよりへの親そだち講座案内等の掲  
載、保育スタッフに 0 歳児の発達に関する研修等で協働し、報  
告・打ち合わせを行い NPO は市と協働しながら事業運営をすす  
めています。

おんぶもいとわず  
ふれあいの保育  
毎日 2～4 人の赤ちゃんが  
やってきます



## 9ヶ月を経て見えてきた関係機関とのネットワークづくりの大切さ

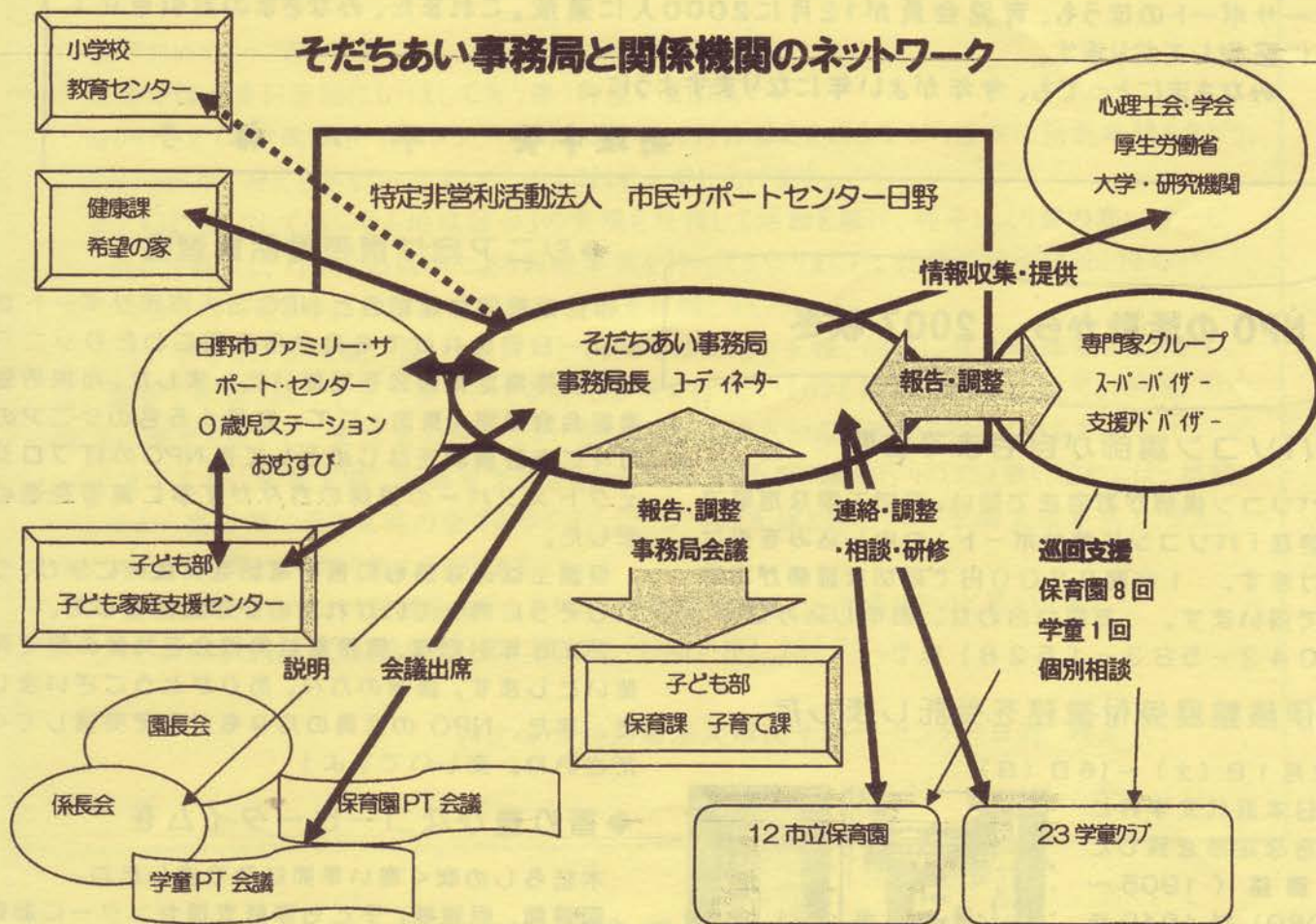
### そだちあい事務局の開設～協働のシステム化～

「日野市子ども支援事業そだちあい」は心理士等の専門家（支援アドバイザー）が日野市立保育園、学童クラブを定期的に巡回し、保育士の支援子どもへの支援、保護者への支援を行う事業です。

巡回相談事業は全国的に行われていますが、NPOへの委託事業の形態で実施したのは全国でも珍しいことです。

当NPOはこの事業を受託するにあたり、ややもすれば心理士等専門家の派遣業務になりがちなの事業を、「行政とNPOの協働事業である」ことが明確化され協働が実質的に行われるようなシステム作りを検討しました。

2007年春までに市の関係者と話し合いを重ね、事業の推進、運営を主体的に行い市の担当者との協働を図るための「そだちあい事務局」を市役所保育課内に開設しました。



2007年4月の段階では、そだちあい事務局と保育課担当者の組み合わせで始まったそだちあい事業でしたが、9ヶ月を経て、上記のようなネットワークができ、そだちあい事務局は、それぞれの機関に働きかけをしています。

新しい事業への理解を得るために園長会や係長会に出向き説明を行ったり、巡回支援が円滑に行われているか確認するため、また、実施に当たって問題点はないかなど、各施設の巡回支援にコーディネーター、事務局長が同行して調整を進めました。

現場での巡回支援を確実にし、その中で見えてくる課題を捉えその解決に向けて、関係各機関が連携していくことが何よりも大切と感じた9ヶ月でした。



学童職員、支援アドバイザー、市担当者、NPOをメンバーとして事例検討会を行った（2007年秋）

## 2007年を振り返って

昨2007年は、当NPOにとってまさに画期的な年でした。土屋新事務局長のもとで新たに二つの事業をスタートさせたのですから。しかも、この二つの新規事業、「0歳児ステーションおむすび」は、日野市で最初の試みでしたし、「子ども支援事業そだちあい」に至っては、全国的にも珍しい活動なのですから、果たしてどうなることかと、最初はおっかなびっくりで成り行きを見守ったものです。

ところが、市との協働で車の両輪がうまくかみ合い、皆さまのご支援をいただきながら、事務局長はじめ関係スタッフたちの忍耐強く、精力的な働きによって、両者ともに軌道に乗せて、明るい展望のもとに一年を締めくることができたのはなにより有り難く、深い喜びをかみしめております。

実家の遠い専業主婦の方が、赤ちゃんから解放されるときのさわやかな笑顔、気になる園児や学童の行動に悩まされている保育士たちが、解決策を知って見せるホッとした表情…こんな出会いに励まされて、当NPOは今年も元気に力を尽くしたいと思います。

この二つの事業にばかりスポットが当てられがちの昨年でしたが、本来の仕事であるファミリーサポートのほうも、育児会員が12月に2000人に達成。これまた、みなさまのお引き立てに感謝しております。

みなさまにとっても、今年がよい年になりますように。

副理事長 早川 裕子

## NPOの活動から 2007 秋冬

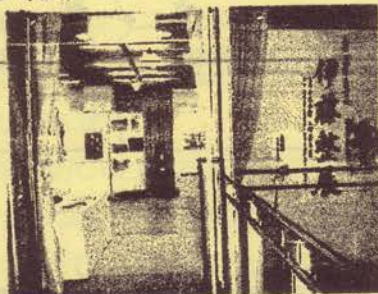
### ◆パソコン講師が自宅まで訪問

パソコン講師がお宅まで伺い、親切丁寧な指導で好評な「パソコン訪問サポート」の申し込みを受け付けます。1時間2500円で親切な講師がお宅まで伺います。お問い合わせ、お申し込みは【042-583-1528】まで

### ◆伊藤整展受付業務を受託しました

12月1日(土)～16日(日)

日本近代文学界に大きな足跡を残した伊藤整(1905～1969)が1949年8月から1954年5月までの戦後の7年間に日野町芝山(現日野市多摩平3丁目)にお住まいでした。その足跡を著書と直筆原稿などの展示から振り返る展示会が市民会館展示室1で開催されました。



NPO 法人市民サポートセンター日野は、この展示会の受付案内業務を受託。毎日2名体制で対応。新選組のふるさと歴史館、多摩平の森ふれあい館総合受付業務などの実績を生かした、ハートフルな受付を実践。「来場者への対応のよさに加えて仕事ぶりに信頼が持てる」と市民、行政の方々から好評をいただきました。

### ◆シニア向け携帯電話講習会

市民活動団体連絡会とNPO法人市民サポートセンター日野の共催で6月から8回にわたりシニア向け携帯電話講習会を開催いたしました。市民活動連絡会会議室(東町)にて、定員15名のシニアの方々に吉野講師をはじめとして当NPOのITプロジェクトメンバーの講師の方々丁寧に講習を進めました。

受講生はみな熱心に携帯電話を実践的に学び、うれしそうに帰っていかれたのが印象的でした。

2008年も同様、携帯電話講習会を共催の形で開催いたします。講師の方々、ありがとうございました。また、NPOの会員の方々もどうぞ受講してくださいね。楽しいですよ!

### ◆香り豊かなコーヒータイムを

木枯らしの吹く寒い季節になりましたね。

図書館、児童館、子ども家庭支援センターにお越しの際はぜひ3階まで。コミュニティセンターでは、暖かな飲み物とクッキー、ケーキをご用意しています。ラムレーズンのパウンドケーキがお勧めですよ!

### <編集後記>

新しい年に向けて、第9号のLINKを発行することができました。今年もさまざまな形での協働を目指して、皆様のお力をお借りしつつ、がんばっていきたく、気持ちをあらたにしています。よろしくお願いたします。(竹内)

